

【中国四国地域交流プログラム 参加報告】

開催期間；2024年5月19日(日)

開催地；香川県/とらまるてぶくろ体育館【屋内/木製】

大会；全国選抜フットサル四国大会

【参加者】

インストラクター

東野 泰隆氏, 森 誠二氏, 合田 敦氏, 柿本 大吾氏

参加審判員

近藤 優氏(徳島県), 伊藤 彰彦氏(徳島県), 林 恭平氏(徳島県), 富田 浩史氏(愛媛県)

藤澤 誠氏(愛媛県), 亀岡 久佳氏(愛媛県), 稲田 茂氏(愛媛県), 有元 善孝



《大会 1 試合目》

① マッチ No.2 11:45 (K.O.)

愛媛県選抜 vs 香川県選抜

5:0 (1:0)(4:0)

主審: 有元 善孝 第2 審判: 藤澤 誠氏

第3 審判: 富田 浩史氏 TK: 稲田 茂氏

インストラクター: 東野 康隆氏

【振返り】

- ・落ち着いた態度で対応できていた。
- ・試合を通して体力、スピードに余裕があり判定にいい影響を与えていた。
- ・選手に対して毅然とした対応ができていた。

【課題】

- ・懲戒罰を与える際のスムーズさ、表現方法を考える
- ・負傷者、退場者が出た際の再開までの時間を短くする

《大会 2 試合目》

② マッチ No.3 【決勝】 15:00 (K.O.)

高知県選抜 vs 愛媛県選抜

6:2 (2:1)(0:1)Ex(1:1)(1:0)

主審: 富田 浩史氏 第2 審判: 有元 善孝

第3 審判: 林 恭平氏 TK: 藤澤 誠氏

インストラクター: 東野 康隆氏

【振返り】

- ・落ち着いた姿勢で試合をコントロールできていた。
- ・動き出しのタイミング、ポジション取りもよくプレーの見極めと予防ができていた。
- ・主審の視野を考えた判定のサポートを考えたい。
- ・2 試合目でせ延長となったが体力的な余裕とスピードは 1 試合っ通して落ちていなかった。

【課題】

- ・選手だけでなく主審の目線から何を見たいか何を見ようとしているかの予測

《全体を通して》

・昨年度から引き続き行なっている中国-四国地域のフットサル審判員地域交流プログラムとして選抜大会四国大会に参加し、計2試合の割当を頂きました。

どの試合も白熱しましたが、決勝戦は延長戦までもつれ込む拮抗した大会となりました。自分にとっても2024年度の1発目となる公式戦となり、本年度のフットサル1級試験に向けて課題が多く見つかったこと、また他地域の審判員と交流をし他地域で頑張っている姿を見てとても良い刺激になりました。

今年1年通したテーマを中国地方でも引き続き取り組んでいきたいと思います。

実際にはもっと多くのことを指導して頂いたので地域の仲間たちに還元できるように活動していけたらと思います。

引き続き、今後ともご指導よろしく申し上げます。

《参加インストラクター 柿本より》

・昨年度から交流プログラムで地域間の審判員の交流、またインストラクターの交流が行われ、昨年よりも今年度は更に詳しく情報交換がおこなう事が出来ました。特に審判員の若手発掘と育成については、四国地域でも同様な課題で、色々な情報交換が出来ました。

・大会に参加した有元氏は、知らない地域で初めて組む審判員と試合を行なうという、1級試験と同様な形式でおこなうことが出来たのは、大きな収穫だったと思います。